

温泉と文学



藤野可織

小説家 (第149回芥川賞受賞)

私が温泉で
読みたい三冊

- ・トニー・パーカー『殺人者たちの午後』
- ・シャーリー・ジャクソン『日時計』
- ・アン・ウォームズリー『プリズン・ブック・クラブ』
- ・コリンズ・ベイ刑務所読書会の一年

Kaori Fujino



藤野可織 (ふじのかおり)

1980年、京都生まれ。2013年『爪と目』(新潮社)で第149回芥川賞受賞。デビュー作『いやしい鳥』(文学界新人賞受賞、文藝春秋)以来、小学校の理科準備室にて出会ったホルマリン漬けの『おはなしして子ちゃん』(講談社)など、ホラーテイストを含む妖しい魅力に満ちた作品を描き続けている。

温泉と文学について語るシンポジウム第2弾。今回は、芥川賞作家である御三方をお招きし、温泉地で読みたい本を紹介していただいたり、ご自身の創作について語っていただきます。

玄月

小説家 (第122回芥川賞受賞)

私が温泉で
読みたい三冊

- ・福岡伸一『生物と無生物のあいだ』
- ・谷崎潤一郎『陰影礼賛』
- ・江國香織『号泣する準備はできていた』

Gengetsu



玄月 (げんげつ)

1965年、大阪生まれ。2000年『陸の棲みか』(文藝春秋)で第122回芥川賞受賞。2011年より、大阪・心斎橋にて、文壇バー「リズール」を運営している。「リズール」では、定期的に作家を招いたトークショーや読書会が開かれ、本好きの集う場となっている。

吉村萬吉

小説家 (第129回芥川賞受賞)

私が温泉で
読みたい三冊

- ・林美美子『浮雲』
- ・西條八十『女妖記』
- ・つげ義春『新版 貧困旅行記』

Manichi Yoshimura



吉村萬吉 (よしむらまんいち)

1961年、愛媛生まれ、大阪育ち。2003年『ハリガネムシ』(文藝春秋)で、第129回芥川賞受賞。『クチュクチュバーン』(第92回文学界新人賞)から、幻想怪奇SFの要素を含みつつ、人間の抱える根源的欲求を描き続けている。近年、専業作家となり、精力的に作品を発表し、近著に『ポラード病』や漫画『流しの下のうーちゃん』(文藝春秋)などがある。

2017年2月26日(日) 13:00~15:00
別府大学メディア教育・研究センター メディアホール

第一部 13:00~13:50
「作家と温泉」

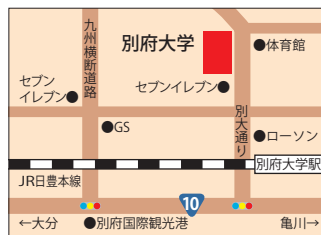
第二部 14:00~15:00
「温泉で読みたい本」



コーディネーター

別府大学 文学部 国際言語・文化学科 講師
澤西 祐典 (さわにし ゆうてん)

1986年生まれ。小説家、日本近代文学研究者。2011年「フラミンゴの村」で第35回すばる文学賞受賞。2015年京都大学大学院博士号(人間・環境学)取得。2015年秋より、本学講師。



入場無料
どなたでも参加できます

アクセス

駐車場は限りがあります。なるべく公共交通機関をご利用ください。
JR 別府大学駅より徒歩 10分
JR 別府駅よりタクシーで 15分

主催/別府大学大学院 文学研究科 日本語・日本文学専攻
共催/別府大学 文学部 国際言語・文化学科、地域連携推進センター
後援/別府市、大分銀行、JR 九州大分支社、大分合同新聞社
お問い合わせ先/ TEL 0977-66-6262 (広報室)
託児サービスをご希望の方は、提携先の「あいむ保育園いしがき園 (TEL 0977-22-6688)」で受け入れ可能です。※前日18時までの事前予約が必要です。